

江別市子どもが主役のまち宣言（案）

未来を担う子どもたちは、江別の宝です。

すべての子どもたちが、いつも幸せを感じ、未来への夢や目標を抱くことができるまちづくりは、江別市民すべての願いです。

すべての子どもたちには、安心して遊ぶ、食べる、ゆっくり眠るなど、色々な幸せがあります。それぞれが望む幸せを、いつも感じられることが大切です。

すべての子どもたちは、自分の意見や気持ちを表し、ありのままの自分を認められることで、自分らしく自信をもって自己を形成していきます。

すべての子どもたちが、健やかに育ち、学び、笑顔で暮らせるよう、私たちは、子どもの幸せを第一に、子どもにとって最も良いことを考える、子どもが主役のまちを目指すことを、ここに宣言します。

一 子ども一人ひとりがかけがえのない存在です。大人は、子どもそれぞれの人格や個性を大切にします。また、子どもたちの意見に耳を傾け、その意見をまちづくりに反映します。

一 子どもが自らの育つ力を十分に発揮できるよう、いじめや虐待などがなく、安心できる環境で、健やかに遊び、学ぶことができるまちづくりに取り組みます。

一 子どもを育てる大人も笑顔でいられるよう、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進めます。

一 家庭や学校だけでなく、地域社会全体で、子どもの健やかな成長を支え、応援します。

＜宣言の解説＞

前文では、江別市が「子どもは幸せであるべき存在」ということを共通認識として持ち、その子どもの幸せを第一に考え、その子どもがいつも笑顔で、健やかに成長できるまちを目指すことを明確にしています。

また、宣言作成にあたり、「幸せだと思うときはどんなとき」というアンケートを子どもたちに実施しており、4,000件を超える回答の中で、たくさんの意見が寄せられた、「遊ぶ」こと、「食べる」こと、「眠る」ことなどを、子どもの願望として明示したほか、みんなに「褒められる」ことや、「認められる」ことなどを望む回答も多くあったことから、自己肯定感や、子ども自身が持つ育つ力を大切に考える考えも示しています。

そして、子どもの幸せを第一に、子どもにとって最善の利益を考える、すなわち、子どもが主役のまちを目指すことを宣言しています。

続く4つの項目文では、子どもが健やかに育つまちを目指すために必要な「基本姿勢」を掲げています。

1つ目は、子どもの権利条約を踏まえ、子ども一人ひとりを権利の主体として尊重していくと同時に、子どもの意見をまちづくりに反映すること。

2つ目は、子ども自身が育つ力を持っていることを大切にしながら、その育ちを支援するための環境づくりやまちづくりに取り組むこと。

3つ目は、誰もが安心して子育てしていけるための環境の整備を進めること。

4つ目は、子どもの養育に直接携わる家庭や学校だけでなく、関係機関や地域住民など地域ぐるみで子どもの成長を支えていくこと。

今後、江別市が「子どもが主役のまち」を目指していくに当たっては、常にこの4つの観点を基本姿勢としながら、子ども関連の施策を進めていくこととなります。